

分野 2

人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

政策 1

少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援

- 施策 1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援 …… 施策番号 6
- 施策 2 子どもの成長を育む支援環境の充実 …… 施策番号 7
- 施策 3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援 …… 施策番号 8

政策 2

生きがいのある豊かな高齢社会の形成

- 施策 1 高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進 …… 施策番号 9
- 施策 2 地域包括ケアシステムの深化・推進 …… 施策番号 10

政策 3

だれもが自分らしく暮らせる社会の形成

- 施策 1 障害者(児)福祉の充実 …… 施策番号 11
- 施策 2 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現 …… 施策番号 12
- 施策 3 生活の安定と自立への支援 …… 施策番号 13

政策 4

安心して暮らせる健康づくりの推進

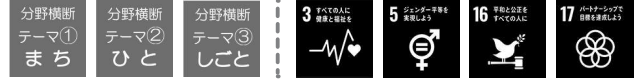
- 施策 1 健康の保持・増進の支援 …… 施策番号 14
- 施策 2 保健衛生の充実 …… 施策番号 15
- 施策 3 地域医療体制の充実 …… 施策番号 16

政策 5

人権を尊ぶ明るい社会の形成

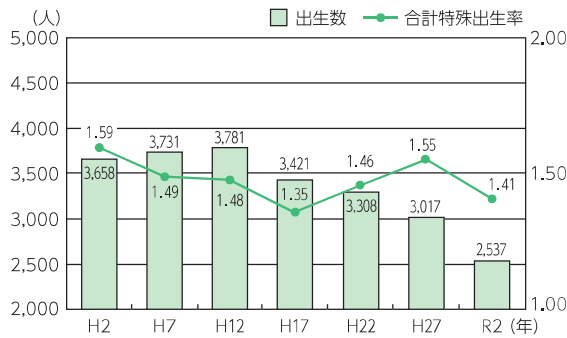
- 施策 1 人権尊重社会の実現 …… 施策番号 17
- 施策 2 男女共同参画社会の実現 …… 施策番号 18

現況と課題



● 若い世代の未婚化や晩婚化の進行とともに、母親の就業意欲の高まりによる仕事と子育ての両立への課題、子育てへの不安や負担感があることから、更なる結婚支援の充実や男性の子育てへの参画*促進など、社会全体で結婚、妊娠・出産、子育てを大切に、切れ目なく支援する必要があります。

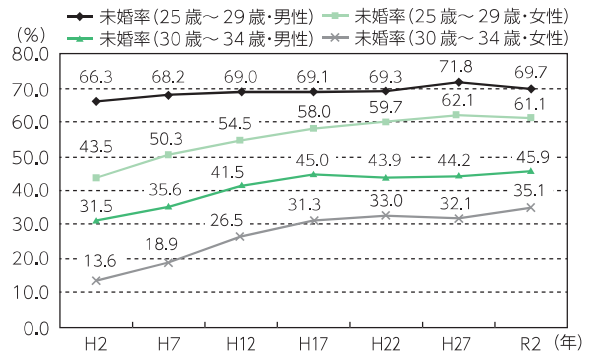
◆出生数と合計特殊出生率



資料：企画課

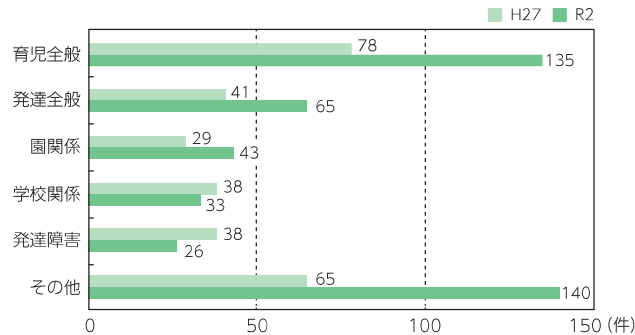
*平成7年以前の合計特殊出生率は、豊野町・戸隠村・鬼無里村・大岡村・信州新町・中条村との合併前の旧長野市域の数値

◆未婚率



資料：企画課「国勢調査」

◆こども相談室における相談件数



資料：子育て家庭福祉課

目指す状態

若い世代が結婚や妊娠・出産についての希望をかなえ、子育てに楽しさや喜びを感じながら、温かい社会の中で安心して子どもを育てている。

主な取組

- 若い世代に対する結婚支援を推進します。(企画課)
- 細やかな情報提供と相談支援などを通じて、妊娠・出産から子育てまでを切れ目なく支援します。(子育て家庭福祉課、保育・幼稚園課、健康課)
- ワーク・ライフ・バランス*への職場の理解や男性の育児参画を促進するとともに、仕事と子育ての両立を支援します。(保育・幼稚園課、こども政策課、子育て家庭福祉課、人権・男女共同参画課、商工労働課) (施策番号18、48関連)
- 地域ぐるみで多様な主体が、子育て・子育てを支援する取組を促進します。(保育・幼稚園課、こども政策課、福祉政策課) (施策番号30関連)
- 子育て中の家庭における経済的な負担の軽減に取り組みます。(子育て家庭福祉課、保育・幼稚園課、福祉政策課)

* 参画………社会の様々な場における企画・立案や決定に自分の意思で関わる、主体的・積極的な態度・行動のこと。

* ワーク・

ライフ・バランス………仕事と生活の調和のことで、やりがいや充実感を感じながら働き仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

アンケート指標（市民が思う割合）
環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
子どもを産み育てやすい地域である	55.9%	↑
子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている	46.4%	↑

統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
合計特殊出生率（年）	一人の女性が生涯に産む子どもの数	1.41	1.65
子育てが「楽しい」と感じる保護者の割合	就学前児童の保護者と小学生児童の保護者の状況	就学前児童 88.0% 小学生児童 90.9%	就学前児童 91.0% 小学生児童 94.0%

個別計画

第二期長野市子ども・子育て支援事業計画

施策2

子どもの成長を育む支援環境の充実 [保育・幼稚園課]

施策番号 7

現況と課題

分野横断
テーマ①
まち

分野横断
テーマ②
ひと

分野横断
テーマ③
しごと

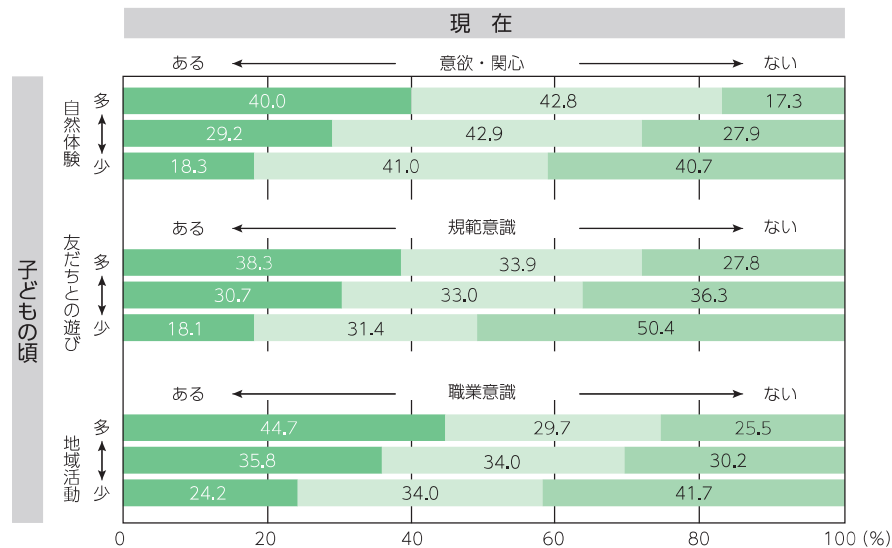
4 暮らしの環境を
みんみに

16 子育て支援を
すすめていく

17 子育て支援を
すすめていく

- 乳幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎をつちかうとともに、「学びの入口」としても重要であることから、家庭、地域、幼稚園・保育所・認定こども園*が、教育・保育に対する共通の認識を持ち連携しながら、子ども一人ひとりの健やかな育ちを支えていく必要があります。

◆子どもの頃の体験と大人になってからの意欲・関心等との関係（平成21年）



目指す状態

乳幼児期の子どもが、安心感や人への信頼感を土台にして健やかに育ち、その後の発達・成長の基礎となる力を着実に育んでいる。

主な取組

- 幼稚園・保育所・認定こども園における、子育てを支える教育・保育の質や職員の力量の向上に取り組みます。（保育・幼稚園課）（施策番号28関連）
- 幼稚園・保育所・認定こども園における、防災や安全対策を推進します。（保育・幼稚園課）
- 幼稚園・保育所・認定こども園の連携に取り組むとともに、小学校との連携を推進します。（保育・幼稚園課、学校教育課）（施策番号28関連）
- 需要の見込みに応じ、乳幼児期の教育・保育を適正に提供する体制を確保します。（保育・幼稚園課）
- 子どもの健やかな成長を育む家庭環境づくりを支援します。（子育て家庭福祉課、健康課、保育・幼稚園課、家庭・地域学びの課）（施策番号30関連）

アンケート指標（市民が思う割合）

指標名	現状値	目標
幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している	51.5%	↑
[再掲：子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている]	46.4%	↑

統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
保育所の福祉サービス第三者評価※受審率	計画期間中に福祉サービス第三者評価を受審した保育所の割合	43.4%	65.0%
家庭で日頃、子どもに絵本の読み聞かせをしている保護者の割合	市内の幼稚園・保育所・認定こども園に通園している子どもの保護者の状況	89.3%	90.0%

個別計画

第二期長野市子ども・子育て支援事業計画、長野市乳幼児期の教育・保育の指針

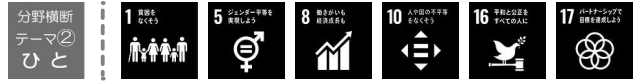
* 認定こども園……小学校就学前の子どもに対する教育と保育を一体的に実施する施設のこと。幼稚園と保育所の機能や特徴を併せ持ち、地域の子育て支援を担う。
 ※ 福祉サービス第三者評価……質の高い福祉サービスを事業者が提供するために、事業者が実施する事業について、公正・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場から評価を行う仕組み。

施策 3

社会的援助を必要とする家庭等の自立支援 [子育て家庭福祉課]

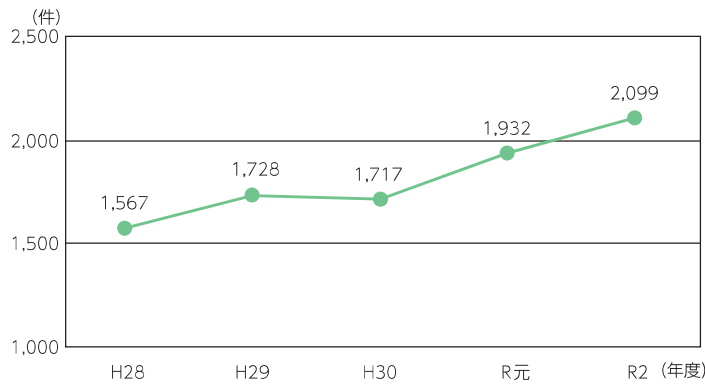
施策番号 8

現況と課題



- 子育てに関わる保護者等からの悩みなどの相談に応じて適切な支援につなげるほか、厳しい社会・経済状況の中、ひとり親家庭などで就労・就学が困難な状況に置かれている人に対し、経済的な自立に向けた支援とともに、経済的に厳しい状況が次世代に連鎖しないよう支援する必要があります。

◆母子・父子相談件数



資料：子育て家庭福祉課

目指す状態

子育てに関わる保護者等が悩みを抱え込むことなく相談につなげられ、すべての子どもが安定した環境の中、地域に見守られながら、安心して暮らしている。

主な取組

- 子育て世帯の生活状況を把握するとともに、社会的援助を必要とする家庭の子どもに対する生活・学習への支援や、保護者に対する相談支援・経済的支援を推進します。(子育て家庭福祉課、生活支援課、教育委員会総務課) (施策番号29関連)
- 子どもの育ちに悩みや不安を抱える保護者への相談支援に取り組みます。(子育て家庭福祉課、健康課、保育・幼稚園課、学校教育課)
- 児童虐待を未然に防ぐとともに、早期発見・早期対応に向けた取組を推進します。(子育て家庭福祉課、健康課)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている (設定なし)	26.8%	↑

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
高等職業訓練促進給付金事業*による就業率	高等職業訓練促進給付金を受給し養成機関を修了した者に占める就業者の割合 注：現状値の括弧内は、修了者と就業者の人数を示す。(就業者/修了者)	100% (10人/10人)	100%

個別計画

第二期長野市子ども・子育て支援事業計画

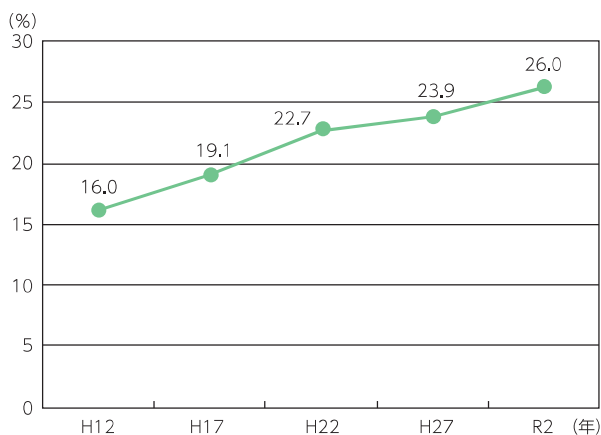
* 高等職業訓練促進給付金事業……母子家庭の母または父子家庭の父が、看護師等、就職に有利な専門性の高い資格を取得するため養成機関で修業する場合に、生活費の負担軽減を目的として給付金を支給する事業のこと。

現況と課題



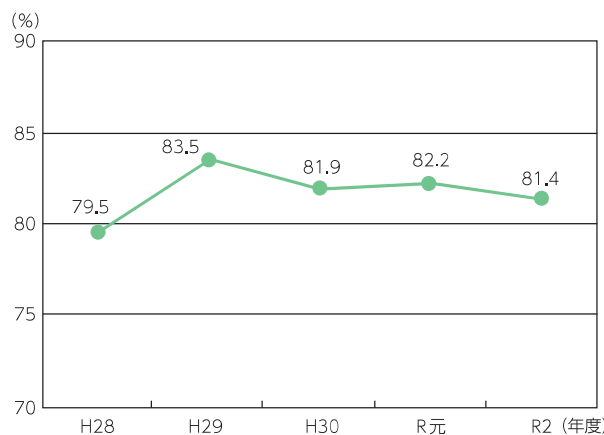
- 学びやボランティア活動、就労などを通じて、高齢者の社会参加や生きがいづくりに取り組んでいます。更なる少子・高齢化の進行に伴い、高齢者が自らの経験や能力を活かし活躍することがより一層求められることから、高齢者がこれまで以上に地域社会の担い手として活躍することを促す必要があります。

◆就業者に占める60歳以上の市民の割合



資料：企画課「国勢調査」

◆社会参加している60歳以上の市民の割合



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」

目指す状態

高齢者が自らの経験や能力を活かして積極的に社会に参加し、様々な場面で生きがいを感じながらいきいきと暮らしている。

主な取組

- 高齢者の地域などでの社会活動を支援します。(高齢者活躍支援課、家庭・地域学びの課)
- 高齢者の就労を支援します。(商工労働課) (施策番号48関連)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている	39.8%	↑
(設定なし)		

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
社会参加している60歳以上の市民の割合	「就労（仕事に就き、その対価を得ている）」「ボランティア」「興味関心のある活動」等、社会と関わる活動をしている60歳以上の市民の割合	81.4%	84.4%

個別計画

あんしんいきいきプラン21 (第九次長野市高齢者福祉計画・第八期長野市介護保険事業計画)

施策 2

地域包括ケアシステムの深化・推進 [地域包括ケア推進課]

施策番号 10

分野横断
テーマ①
まち

3 高齢者にやさしいまちづくり

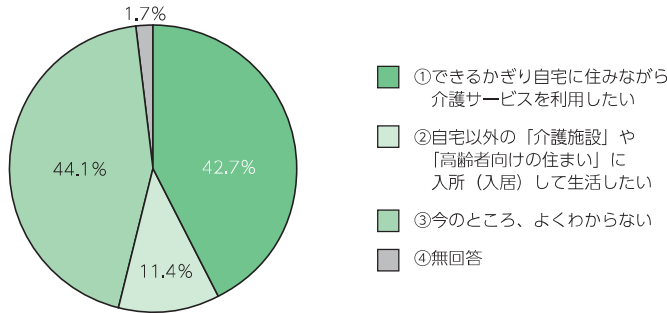
16 福祉と健康をつなぐまち

17 高齢者がいきいきと暮らすまち

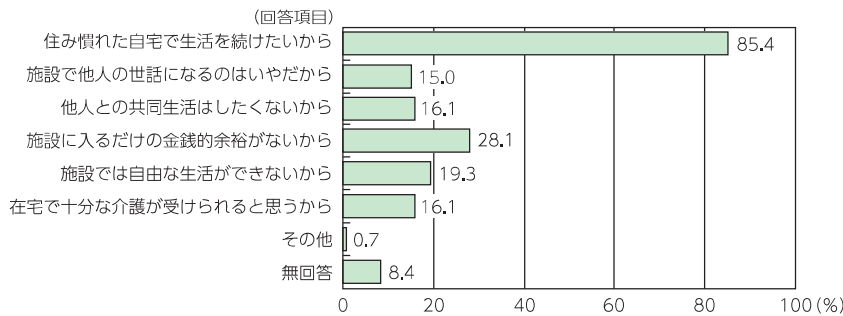
現況と課題

- 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けるために、医療、介護、保健・介護予防、住まい、生活支援を切れ目なく提供する地域包括ケアシステムを実現する必要があります。

◆ 「介護が必要になった場合の生活の場の希望」についての市民意識



◆ 「自宅で介護サービスを利用したい理由」についての市民意識



資料：高齢者活躍支援課「高齢者等実態調査」

目指す状態

高齢者が自ら介護予防・健康維持の取組を実践するとともに、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域の中で、必要な介護を受けながら最期まで自分らしく安心して暮らしている。

主な取組

- 介護予防を推進するとともに、医療、介護、住まい、福祉サービスなどを包括的・継続的に提供する体制を確立します。(地域包括ケア推進課、介護保険課、健康課、高齢者活躍支援課、住宅課、国民健康保険課)
- 認知症の早期発見・早期対応や、認知症高齢者とその家族を地域で支える取組を促進します。(地域包括ケア推進課、福祉政策課)
- 要介護高齢者に対する介護保険サービス基盤の整備を促進します。(介護保険課、高齢者活躍支援課)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	42.9%	↑
ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	54.7%	↑

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
要介護状態ではない高齢者の割合	高齢者(65歳以上)のうち、要介護認定(要介護1~5)を受けていない人の割合	86.8%	87.1%

個別計画

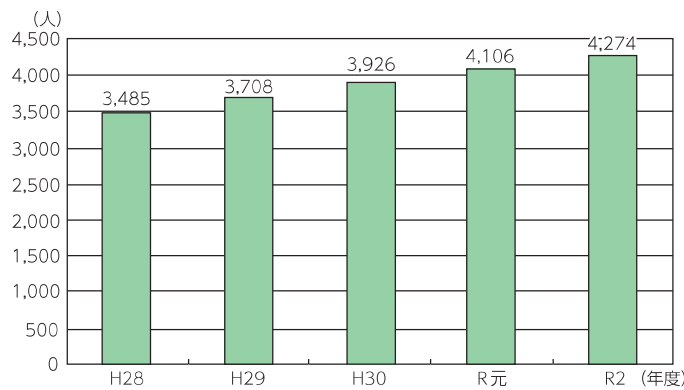
あんしんいきいきプラン21 (第九次長野市高齢者福祉計画・第八期長野市介護保険事業計画)

現況と課題



- 障害福祉サービスに対する需要が年々増加するとともに多岐にわたっていることから、障害のある人の状況や要望等を的確に把握し、必要な支援が適切に提供できる体制の確保が必要となります。
- 障害に対する理解を促進し、障害者差別の解消や合理的配慮^{*}の提供に向けた取組を進める必要があります。

◆障害福祉サービスにおける計画相談支援事業^{*}の利用者数



資料：障害福祉課

^{*}ケアプラン作成事業利用者、障害児相談支援利用者を含む
^{*}数字は各年度3月末時点での実数

目指す状態

障害の有無によって分け隔てられることなく、だれもが自分らしく安心して暮らしている。

主な取組

- 地域共生社会^{*}の実現を目指して、障害に対する理解を深め、障害者の権利を擁護する取組を推進します。(障害福祉課、人権・男女共同参画課) (施策番号52関連)
- 障害者自らの意思決定に基づき、安心して生活を送るためのくらしの場・障害福祉サービス基盤を整備します。(障害福祉課)
- 障害のある人の就労支援、スポーツ、文化芸術活動等の社会参加を促進します。(障害福祉課、商工労働課、農業政策課、スポーツ課) (施策番号35、43、48関連)
- 発達障害^{*}等の特性を有する児童生徒に対する支援や多様な教育・保育ニーズに応じた取組を充実します。(障害福祉課、健康課、子育て家庭福祉課、保育・幼稚園課、学校教育課) (施策番号29関連)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている	22.8%	↑
障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている	64.5%	↑

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
一般企業の障害者雇用率 (年)	企業が雇用する常用労働者数に占める障害者の割合	2.28%	2.53%

個別計画

第2次長野市障害者基本計画、第6期長野市障害福祉計画、第2期長野市障害児福祉計画

^{*} 合理的配慮……………社会生活を送るさまざまな場面で、障害のある人から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思表示があった場合において、その実施に伴う負担が過重でないときに、障害のある人の権利や利益を侵害することとならないよう、社会的障壁を除去するための必要かつ合理的な取組のこと。
^{*} 計画相談支援事業……………障害福祉サービスのうち、利用計画書の作成や利用状況の検証などにより、サービスの利用を支援する事業のこと。
^{*} 地域共生社会……………制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会のこと。
^{*} 発達障害……………知的発達に遅れはないが、聞く・話す・読む・書く・計算する等の能力のうち、特定のものの習得と使用が著しく困難な「学習障害(LD)」。年齢又は発達に不釣り合いな注意力や衝動性、多動性を特徴とする行動があり、社会的活動や学業機能に支障をきたす「注意欠陥/多動性障害(ADHD)」。対人関係や社会性の発達に遅れがあり、ときにはパターン化した行動や特定の事柄への強いこだわりを示すなど、生活の広範な部分に症状が表れる「広汎性発達障害」などの総称。

施策 2

認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現 [福祉政策課]

施策番号 12

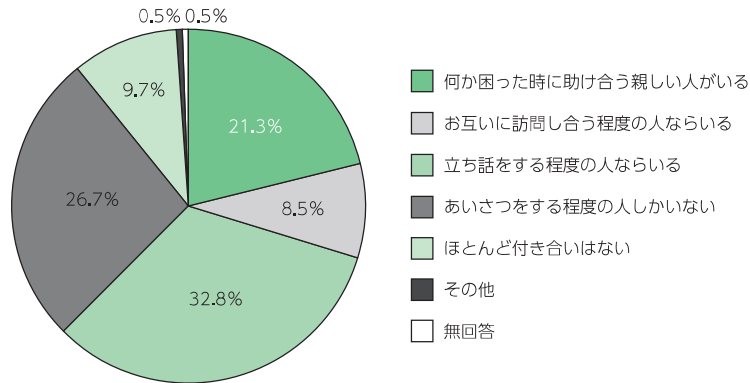
分野横断
テーマ①
まち



現況と課題

- 単独世帯の増加などにより、家族や地域住民相互のつながりが希薄化する中で、社会的孤立等地域における課題に加え、高齢化や生活困窮などの課題が複合的に生じている世帯が増えていることから、行政・住民・関係機関等が連携して解決に取り組むことが必要です。

◆ 「近所付き合い」についての市民意識（令和2年度）



資料：福祉政策課「まちづくりアンケート」

目指す状態

市民一人ひとりが、地域の中で互いに認め合い、支え合い、活かし合いながら、安心して自分らしくいきいきと暮らしている。

主な取組

- 地域福祉を推進するための啓発を進め、担い手の創出などの基盤づくりを促進します。（福祉政策課）
- 地域福祉を推進する実施主体間のネットワークづくりを促進します。（福祉政策課）
- 身近な地域での見守り・支え合いを促進します。（福祉政策課、地域包括ケア推進課）

アンケート指標（市民が思う割合）

指標名	現状値	目標
ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている	42.8%	↑
ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている	57.6%	↑

統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
地区地域福祉活動計画等に基づき地域福祉活動に取り組んでいる地区数	地区地域福祉活動計画の進捗状況の把握や計画の検証・見直しに取り組んでいる地区数	32地区	32地区

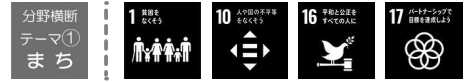
個別計画

第四次長野市地域福祉計画

施策3 生活の安定と自立への支援 [生活支援課]

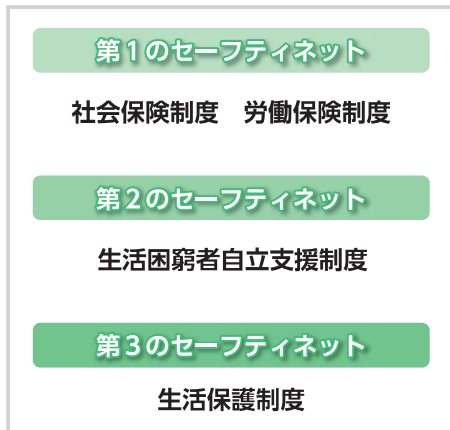
施策番号 13

現況と課題



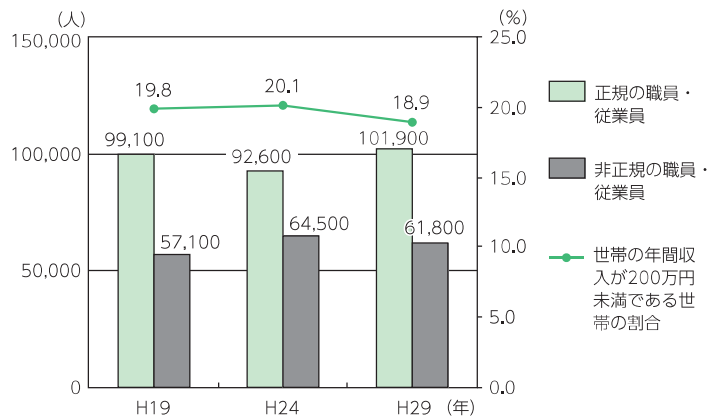
- 近年の雇用状況の変化に伴い、既存の社会保険制度・労働保険制度や最終的なセーフティネット*である生活保護制度だけでは、市民の安定した生活を支えきれなくなっていることから、生活に困っている人が自立した生活を送れるように支援する「第2のセーフティネット（生活困窮者自立支援制度）」を充実する必要があります。

◆3段階のセーフティネット（イメージ）



資料：生活支援課

◆世帯の年間収入が200万円未満である世帯の割合と雇用形態別雇用者数



資料：企画課「就業構造基本調査」

目指す状態

だれもが幾重にもはりめぐらされたセーフティネットに守られ、その状況に応じて可能な限り自立し、困窮することなく安定した生活を送っている。

主な取組

- 生活困窮世帯や生活保護世帯に対して就労を支援します。(生活支援課)
- 世帯の実情に即した生活保護の適正な運用に取り組みます。(生活支援課)

アンケート指標（市民が思う割合）

指標名	現状値	目標
生活に困った時に相談できる体制が整っている	24.7%	
(設定なし)		

統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
「まいさぼ長野市*」の支援により就労した人の割合	「まいさぼ長野市」の利用者における、就労支援を必要とする人のうち、支援により実際に就労した人の割合	67.0%	62.1%

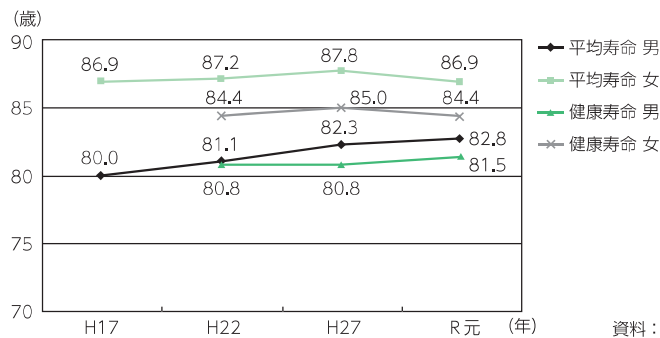
* セーフティネット……経済的な危機に直面している人を救済し、最低限度の生活を保障する仕組みのこと。
 ※ まいさぼ長野市……「長野市生活就労支援センター」の愛称。様々な問題を抱えて生活に困窮している人に対し、地域の関係機関と連携しながら寄り添い型の相談支援を実施している。

現況と課題



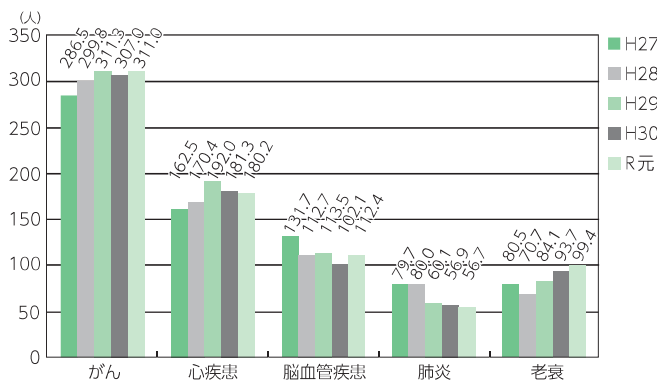
- 少子高齢化が急速に進む中、人生100年時代を見据え、生き生きと健康で自立した生活を送り続けることが重要であることから、一人ひとりが健康意識を高め、生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組むことが必要です。
- 30年以上にわたり、市民の死因の第1位はがん（悪性新生物）であることから、がんの予防と早期発見・早期治療を併せて推進することが必要です。

◆平均寿命と健康寿命*（平均自立期間）

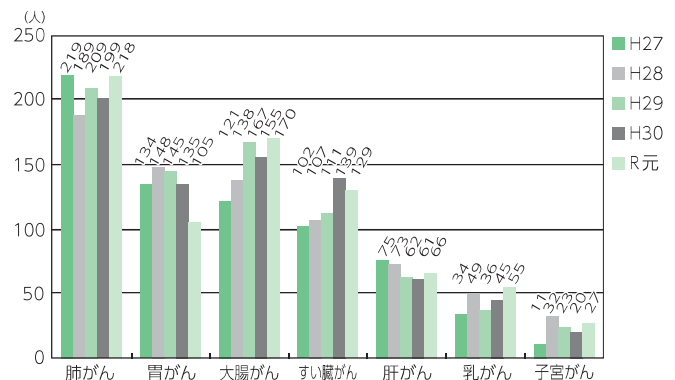


*平成17年以前の健康寿命は算出されていない。

◆主な死因別死亡者数（10万人当たり）



◆がんの部位別死亡者数



目指す状態

市民一人ひとりが健康の大切さを認識し、生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組み、自分らしく生きがいをもって生活している。

主な取組

- 健幸増進都市*を目指し、地域・学校・職場などとの連携により、健康の保持・増進に向けた市民一人ひとりの意識の向上や行動の改善を促す取組を推進します。（健康課）
- 子どもの頃からの健全な食生活や運動・スポーツの習慣の定着に向けた取組を推進します。（健康課、スポーツ課）（施策番号35関連）
- 生活習慣病の発症予防・重症化予防やがんの早期発見・早期治療に向けた、各種検診（健診）による健康管理を促進します。（健康課、国民健康保険課、高齢者活躍支援課）

※ 健康寿命………日常的に介護を必要としないで、健康で自立した生活ができる期間のこと。
 ※ 健幸増進都市………心身ともに健康で充実した生活を送り、幸せが感じられるまち。

アンケート指標（市民が思う割合） 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	43.7%	
健康づくりに継続的に取り組んでいる	62.9%	

統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
健康寿命（年）	介護保険の要介護認定者数等を用いて算定した、日常生活動作*が自立している期間の平均	男80.90年 女84.24年	平均自立期間の延伸
75歳未満のがん死亡率（年）	75歳未満における、人口10万人当たりのがんの年齢調整死亡率**	60.0%	減少傾向
メタボリックシンドローム*予備群・該当者の割合	40歳～74歳における、メタボリックシンドローム予備群及び該当者であると診断された市民の割合	男50.1% 女17.5%	男33.0%以下 女11.7%以下

個別計画

ながの健やかプラン21（第三次長野市健康増進計画・第三次長野市食育推進計画）、
あんしんいきいきプラン21（第九次長野市高齢者福祉計画・第八期長野市介護保険事業計画）

※ 日常生活動作……………人が日常生活を送るために繰り返す基本的かつ具体的な活動のこと。家庭における起床、歩行、食事、入浴、排泄、整容などがある。
 ※ 年齢調整死亡率……………年齢構成の相違を気にすることなく、より正確に地域比較や年次比較をすることができるよう、年齢構成を調整しそろえた死亡率のこと。
 ※ メタボリックシンドローム……………内臓脂肪型肥満により、動脈硬化が進み、様々な病気が引き起こされやすい状態のこと。腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上の場合に内臓肥満ありと判定した上で、脂質異常症・血圧高値・空腹時高血糖の3つの異常のうち2つ以上を合併していると、メタボリックシンドロームと診断される。

施策 2

保健衛生の充実 [健康課]

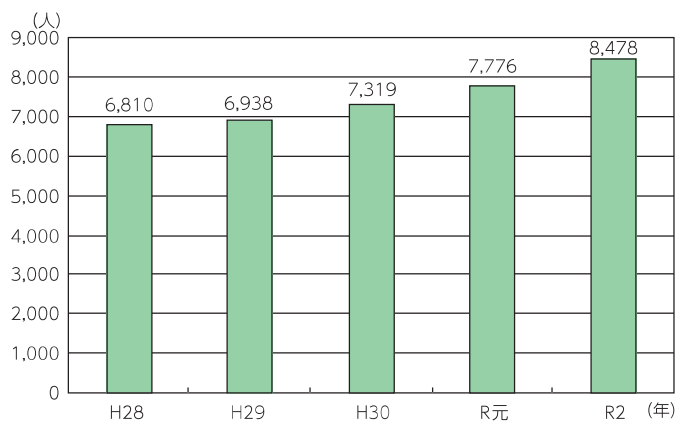
施策番号 15

現況と課題

分野横断
テーマ①
まち

- 新興感染症*や再興感染症*の世界的流行に備えた体制整備と、感染症予防に対する正しい知識の普及啓発が必要です。
- 健康の不安、対人関係、経済的理由など様々な要因が複合的に連鎖し、加えて新興感染症による生活様式の変化や感染への不安などにより強いストレスを感じる人や心を病む人、ひきこもり者等が増えていることから心の健康づくりを推進することが必要です。

◆自立支援医療*（精神通院医療）受給者数



資料：健康課

目指す状態

感染症の流行に備えた体制が整備され、地域に密着した専門性の高い保健衛生事業の提供により、だれもが健やかで安心・安全に暮らしている。

主な取組

- こころの健康に関する正しい知識の普及・啓発や相談支援に取り組むとともに、自殺予防に関する総合的な対策を推進します。(健康課)
- 新興感染症や再興感染症の流行に備え、緊急時に必要となる相談・検査及び移送等の体制を整備します。(健康課)
- 感染症の正しい知識を普及・啓発するとともに、感染症の予防や早期発見・感染拡大防止体制を整備します。(健康課、環境衛生試験所)
- 食品・医薬品の安全性の確保や生活衛生の向上に向けた監視・指導に取り組めます。(食品生活衛生課、環境衛生試験所)
- 犬猫の殺処分ゼロを目指す取組を推進します。(食品生活衛生課)

アンケート指標（市民が思う割合）



環境や体制に関する評価



回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている	18.4%	↑
不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	68.4%	↑

統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
自殺率（年）	人口10万人当たりの自殺率	15.2	12.9以下

個別計画

ながの健やかプラン21（第三次長野市健康増進計画・第三次長野市食育推進計画）

※ 新興感染症……WHO（世界保健機関）の定義によると「かつて知られていなかった新しく認識された感染症で、局地的あるいは国際的に、公衆衛生上問題となる感染症」のこと。

※ 再興感染症……WHO（世界保健機関）の定義によると「かつて存在した感染症で公衆衛生上ほとんど問題とならないようになっていたが、近年再び増加してきたもの、あるいは将来的に再び問題となる可能性がある感染症」のこと。

※ 自立支援医療……障害者等の心身障害を軽減し、自立した生活を営むための医療について、医療費の自己負担額を軽減する制度のこと。

施策3 地域医療体制の充実 [医療連携推進課]

施策番号 16

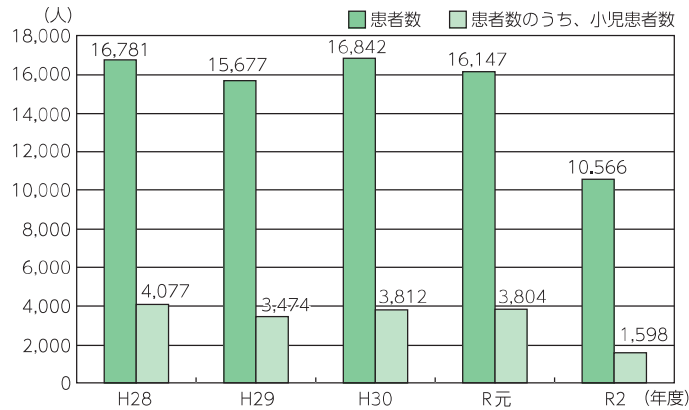
現況と課題

分野横断
テーマ①
まち

3 子育ての安心・子育て支援
16 高齢社会を支える
17 高齢者の生活の質を向上

- 医療機関の診療時間外における救急患者を確実に受け入れるため、医療提供体制の確保が必要です。

◆長野市急病センター利用者数



資料：医療連携推進課

*小児：0歳～14歳未満。小児患者数には小児科以外への受診を含む。

目指す状態 だれもが必要とする時に、適切な医療サービスを受けている。

主な取組

- 医師会や医療機関との連携により、救急医療体制を確保します。(医療連携推進課) (施策番号24関連)
- 高度急性期医療*や地域完結型医療*の提供体制の整備を支援します。(医療連携推進課、保健所総務課)
- 中山間地域における国民健康保険診療所による医療提供体制を維持します。(医療連携推進課)
- 医療に関する患者・市民からの相談等に対応します。(保健所総務課)
- 公的医療保険や福祉医療制度*を安定的に運営します。(国民健康保険課、高齢者活躍支援課、福祉政策課)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

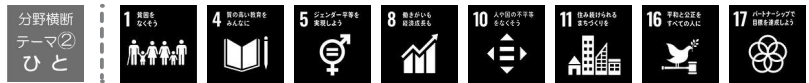
指標名	現状値	目標
必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	61.3%	↻
かかりつけ医がいる	73.9%	➡

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
健康寿命 (年) (再掲：施策番号14)	介護保険の要介護認定者数等を用いて算定した、日常生活動作が自立している期間の平均	男80.90年 女84.24年	平均自立期間の延伸

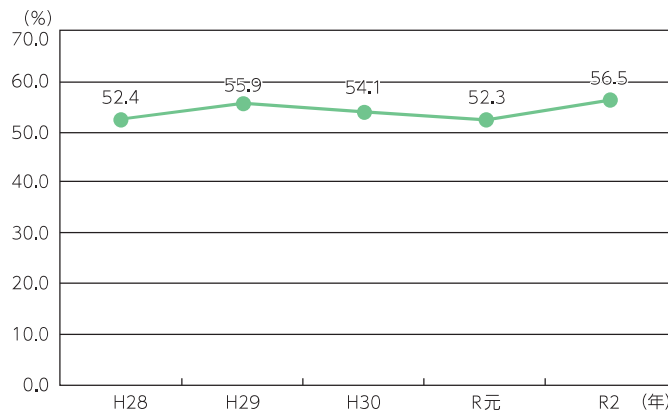
※ 高度急性期医療……重症で緊急に治療が必要な急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて集中的に提供される高度で専門的な医療のこと。
 ※ 地域完結型医療……医療機能の分化・連携を推進することにより、急性期から回復期、在宅療養に至るまで、地域全体で切れ目なく提供される医療のこと。
 ※ 福祉医療制度……子どもや障害者(児)、ひとり親家庭の健康の保持と生活の安定などの福祉の増進を図るため、医療機関などで支った保険診療の自己負担分を支給する制度。

現況と課題



- 同和問題をはじめとする差別、いじめ、虐待、性犯罪、暴力、ハラスメント※、誹謗中傷、インターネットによる人権侵害などにより、人間としての尊厳を傷つけられている人がいます。市民一人ひとりが人権尊重の意義や様々な人権問題についての理解と認識を深める必要があります。

◆ 「人権問題について理解を深めようとしている」と思う市民の割合



資料：企画課「市民アンケート」

目指す状態

市民一人ひとりが、生涯にわたり自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、人権を尊重している。

主な取組

- 家庭・地域・学校・職場などあらゆる場における、様々な人権問題や社会の変化に伴って生じてくる人権問題に関し、教育・啓発活動を推進します。(人権・男女共同参画課)
- 人権問題に関する相談体制を充実します。(人権・男女共同参画課)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
互いの個性や立場を尊重し合える地域である	34.7%	↑
人権問題について理解を深めようとしている	58.3%	↑

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
人権教育・啓発研修会参加者の満足度	指導主事が講師を務める人権教育・啓発研修会の参加者のうち、研修が「とてもよい」「よい」と回答した人の割合	83.3% (R元)	92.0%

個別計画

長野市人権政策推進基本方針

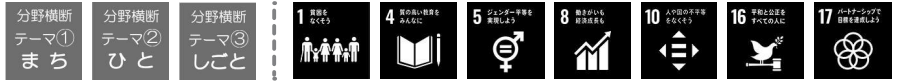
※ ハラスメント………いろいろな場面での「嫌がらせ、いじめ」のこと。その種類は様々であるが、他者に対する発言・行動等が、本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、不利益を与えたりすること。

施策2

男女共同参画社会の実現 [人権・男女共同参画課]

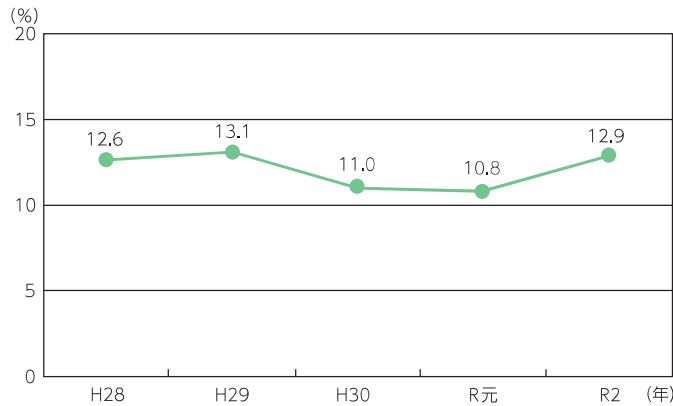
施策番号 18

現況と課題



- 性別による固定的な役割分担の意識が根強く残っていることから、意識改革のための取組を推進するとともに、男女が共に活躍できる社会環境を整備する必要があります。

◆「社会全体において、男女が平等である」と思う市民の割合



資料：人権・男女共同参画課「男女共同参画に関する市民意識と実態調査」

目指す状態

男女が社会の対等な構成員として個性と能力を十分に発揮し、自らの意思により社会のあらゆる分野で活躍する機会が確保されている。

主な取組

- 男女共同参画意識の向上に向けた教育・啓発活動を推進します。(人権・男女共同参画課)
- 社会のあらゆる分野における女性活躍の推進を図ります。(人権・男女共同参画課)
- 誰もが充実した生活を送るため、仕事と家庭生活や地域活動等の両立を支援します。(人権・男女共同参画課) (施策番号6、48関連)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である	23.5%	↗
男女共同参画や女性活躍推進について理解を深めようとしている	51.3%	↗

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
地域の方針決定の場への女性の参画度	住民自治協議会における、議決権のある役員への女性の参画率	17.5%	30.0%

個別計画

第五次長野市男女共同参画基本計画